

令和元年

建設文教委員会

6月4日

豊明市議会

建設文教委員会会議録

令和元年6月4日

午前11時36分 開会

午後1時17分 閉会

1. 出席委員

委員長	清水 義昭	副委員長	近藤 千鶴
委員	いとう ひろし	委員	林 ゆきひろ
委員	近藤 ひろひで	委員	宮本 英彦
委員	近藤 郁子		
議長	三浦 桂司		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	鈴木 美智雄	議事課長	近藤 恒明
議事担当係長	花井 悟之		

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正典	副市長	坪野 順司
教育長	伏屋 一幸	行政経営部長	藤井 和久
教育部長	小串 真美	行政経営部次長	古田 範明
財政課長	萩野 昭久	学校教育課長	高木 安司
財政課長補佐	浦 倫彰	学校教育課長補佐	北川 宜志

5. 傍聴議員

服部 龍一	堀内 ちほ	中村 めぐみ	ごとう 学
青木 亮	鶴飼 貞雄	郷右近 修	一色 美智子
毛受 明宏	月岡 修一	ふじえ 真理子	近藤 善人

6. 傍聴者

一般傍聴者 1名

午前 11 時 36 分開会

○建設文教委員長（清水義昭議員） ただいまより建設文教委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 議会を休憩いただきまして、この建設文教委員会を開いていただきまして本当にありがとうございます。

係っている案件はこの議案第47号の補正予算1件でございます。慎重なる審査をいただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ありがとうございます。

続いて、議長より挨拶をお願いします。

○議長（三浦桂司議員） 即決議案ですので、慎重に審議していただいて結論を導き出していただきたいと思えます。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

ここでお諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おき、お願いします。

（関係職員以外退席をなす）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 本日の傍聴については、申し合わせに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可いたします。

（一般傍聴者入室）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。

それでは、議案第47号 令和元年度豊明市一般会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

本案件につきまして、理事者より簡潔に説明を求めます。

高木学校教育課長。

○学校教育課長（高木安司君） それでは、議案第47号、一般会計補正予算の歳出より説明しますので、補正予算書の7ページ、8ページをごらんください。

10款2項1目1 小学校施設維持管理事業は5,053万9,000円の増額です。キュービクル更新等附帯工事における増額でございます。これは、当初計画していましたエアコン設置が普通教室に限ることから、それに合わせたキュービクル更新工事を発注し工事を進めてまいりましたが、その後、少人数教室やALT教室においてもエアコン設置が認められることになりましたので、それに対応した追加工事が必要になり、今回その工事費を計上するものでございます。

その下、3 新設校開設事業の3,309万3,000円は、双峰小学校内駐車場の拡張工事等に伴うものです。これは、双峰小学校と唐竹小学校統合において、駐車場不足を補うためのものでございます。

次に、歳入について説明しますので、5ページ、6ページをごらんください。

先ほど説明しました歳出に関し、財源内訳となるものです。上段18款1項1目 財政調整基金繰入金2,093万2,000円の増額は、歳出の一般財源となるものでございます。その下、21款1項5目 教育債6,270万円の増額は、歳出部分における地方債となるものでございます。

次に、4ページをごらんください。

地方債補正でございます。今説明しました6,270万円を増額して限度額を7,480万円とするものでございます。

以上で説明を終わります。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

宮本委員。

○宮本英彦委員 今説明をいただきましたけれど、特に新設校の校舎改修関係の駐車場の関係の予算ですけど、説明いただきましたけど、もう少し質疑を円滑にするために資料請求を要求させていただきます。

資料請求の中身は、全体の図面と全体の工事関係のスケジュール関係の資料、2点を請求させていただきたいと思いますので、よろしく、委員長、お願いします。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ただいま宮本委員より資料請求がありました。当局

において資料は用意できますでしょうか。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） できます。

○建設文教委員長（清水義昭議員） お諮りいたします。本委員会として資料要求することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 賛成全員です。資料要求することに決定します。

それでは、資料用意のため、暫時休憩といたします。

午前 11 時 41 分休憩

午後 1 時 再開

○建設文教委員長（清水義昭議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

休憩中に当局より資料の提出がありましたので、その内容について説明を願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） それでは、資料 1、2 と配らせていただきました。既存資料を使っておりますのでちょっと見にくいところは御容赦願いたいと思います。

1 が 2 も見ながらということで、2 に A、B、C、D、E と書いてありまして、これが大きな工事の枠組みでございまして、それがどこでやっておるかというのが一番初めの資料 1 でございます。

この工程表をまず見ていただきますと、今回認めていただければ 6 月の下旬には契約を結びまして、7 月 20 日から夏休みに入るわけですが、その段階から、ちょっと見にくいかと思いますが、ここから撤去工事を行います。その後、8 月に入りまして、全て本体のほうの工事になってまいりまして、9 月の中旬には仕上げる予定でございます。全て夏休み中に大体大きな工事は終わる予定でございます。

1 に戻っていただきまして、A が正門とその横にあるごみ置き場の工事になります。B が自転車置き場の周りの工事でございます。C が、今、一輪車が、ちょうど体育館の、C のちょっと左側にあるんですけど、ここもちょっと駐車場の関係になってきますので、奥のほう、今の C の位置にずれてまいります。D は斜線が引っ張ってあります全体が駐車場の拡張工事、舗装ですとか車どめを含めてやる工事でございます。E につきましては、通用門がありまして、これが今、学校側に入った中にレールがあるものですから、それを敷地いっぱいの方まで持ってきまして、そこにも駐車できるスペースをつくるということでこの工事を行うことになっております。

資料については以上でございます。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 質疑を続けます。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 幾つか質問があるのでお願いします。

まず1点目で、キュービクルの更新の工事なんですけれども、こちら、双峰小学校の配線のみだとすると少し高い気がするんですけれども、ほかに何か入っているのであれば教えてください。

続けていいですか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 1つずつにしましょうか。

答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） ほとんどがケーブル等の付設工事が多いんですが、トランスですとかコンデンサーの中にPCBが含まれておりますので、PCBは別途保管しなければなりませんので、その保管箱をつくったり、ユニットでそれを積み上げて移動させる必要があります。あと、工事の中で残土ですとかアスファルトがらとかコンクリートがらも出てきますので、その発生材処理についても計上しております。

以上でございます。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 キュービクルの更新工事で5,053万9,000円、これは前回の説明で、32教室とお聞きしています。

そこでお伺いしたいんですけれども、この32教室を含めて普通教室がそもそも何教室で、小学校の全教室がそもそも幾つあるのか。普通教室と今回の工事を含めてカバー率、エアコンで設置できるカバー率、まずこれを教えて。わかりますか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 普通教室につきましては、全部で141ございます。今回の32を足した形がエアコンが設置されることになります。全教室数はちょっと今つかんでおりませんので、あとは音楽室とか特別教室になりますが。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 全教室がわからないということであるなら、逆にいえば、今回設置でき

ない、設置しない教室はどういう教室なんですか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 理科室ですとか音楽室ですね。そういった教室になります。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 理科室、音楽室、この設置するしないという基準というのは、学校の先生の意見というのは聞いていないんですか、聞かれたんでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 当然、学校の先生にはお聞きしたんですけど、今回の補助対応でそこまでの教室が認められていないものですから、今回はその教室は外させていただきました。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 ということは、国の補助が対象であるかないかが設置基準であったという理解でよろしいんですか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） そのとおりでございます。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 学校の先生、これ、一般質問で前もあったんですけど、音楽教室は設置の要望が一番多いというふうに聞いていたんですけど、これが国の対象に入っていないから、たとえ教室の、現場がそのニーズが強くても外したと、こういう理解ですか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 最終的にはそういうことになるんですけど、優先順位としまして、普通教室がまず大事、次に少人数教室ということで設置させていただきました。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 優先順位ということになると、優先順位が来たら直ちに設置するという、音楽室も設置するという理解でよろしいですか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 音楽室につきましては、今はないんですが、今後検討していく教室ではないかというふうには考えております。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 キュービクルの工事費用で、双峰小の配線に係る概算とほかの学校の特別教室に係る費用の概算、そして、PCBの保管に係る費用とごみ処理の費用が大体どれぐらいの配分なのかというのを教えていただけませんか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 細かい額は、金額になってしまいますと発注前ですのでは何かと行政上問題が出てきますのでそれは言えないんですが、8割相当が全体の延長になります。PCBは残りの部分の大部分を占めます。あとは発生材の処理になりますのでというふうに御理解願いたいと思います。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回即決で、本日議決をしないといけないというところなんですけれども、校舎の改修工事は確かにこのスケジュールで即決がいいと思うんですけれども、キュービクルのほうは、結局夏に間に合わない状況だと思うんですけれども、即決にした理由は何でしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） できる限り即決にして動かせる教室は動かそうと思えますけど、今、委員が言われるように、全教室がこの夏に間に合うかといいますと難しいん

ですが、本体工事が9月末までですので、ここに合わせることによって合算経費を計上できますので、その分安くできるということで今回計上させていただきました。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 あとは校舎の改修工事についてですけど、先ほどEの部分で、門をつくるんですけども、自動車はとめれるような形でというところであったんですけども、自動車をとめた場合は、門は一切開かないということによろしいでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 門は開くんですけど、当然車が入っておれば入ることができませんので、開ける必要はないかと思えます。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうなってくると、車をとめている場合は門を開ける必要がないということなんですけれども、そうなってくると、ここは駐車場の場所になるので、特に門をつくる必要のないような気がするんですけども、門をつくる必要はあるんでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） あくまでも出入口は2方向、今もありますので、現状を回復するというので、もう一つの門もつけております。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 拡張工事後は全体で何台の駐車ができるのか、それは常時いっぱいになるのかどうか、教えてください。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今考えておりますのは、55台とめれるように考えております。常時いっぱいになるかという常時ではないんですが、今の頻度でもかなりとまっておりますので、かなり窮屈な状態になるかとは思いますが。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 55台ということなんですけれど、これでもう余地はないのかどうか。これですぐ不足するということはないんでしょうね。これで大丈夫でしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 宮本委員の前に先ほどの駐車台数の関係なんですけど、現在が40台で55台にする予定でございます。

今、宮本委員の話なんですけど、余地はないのかということですが、現在、現場を見ていただくと、その図面もそうなんですけど、いっぱいですってありますので、その中で余地はこれ以上とれないかなと思います。この後、余裕はあるのかというんですが、現在でも40台で15台プラスするということなんですけど、唐竹小学校の先生自体が15名今いますので、全部が全部来るとは限りませんが余り余裕はないので、今後も、窮屈な状態は続くというふうに考えております。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございますか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 窮屈なのはいいんですけど、とめれるかとめれないかという。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今言ったとおり、15名ふえて、それ以下だと思いますので、来られる方は。とめられるというふうに考えて今回の拡張をさせていただきます。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 工事管理委託料なんですけれども、こちらは、校舎等の改修工事に全てかかる金額ということによろしいでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 工事管理委託料は、この工事に対する設計書と現場が合っておるかという確認をしたりですとか、工程表を作成したりとか、そういった管

理料になります。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 これは国の基準ですのでわからないとは思いますが、わかる範囲で結構なんですけど、今回の特別教室、普通教室以外の補助を国が認めたということなんですけれど、認めた基準というのが要するにちょっとよく理解できないので、何をもって認めた基準とされたのか。要するに、理科室とか音楽室とかそういうところが対象に入っていないということなんですけれど、むしろ設置すべきところはそういうところであって、特別教室ももちろん大事は大事なんですけど、その特別教室を設置した設置の補助の対象にしたという基準の物差しというか、何かそういうところ、わかるところがあれば。わかるでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） わかる範囲でお願いします。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 国が決めたことですので、あくまでもこれは私の推測になってしまうんですけど、補助金というのは最低限ということで、全て網羅するという補助金は少ないかと思しますので、その辺の国が考えた中で、常時使う普通教室をまずということで、今回それが補助対象になったかと思えます。今、委員が言われるように、確かに音楽室や何かは必要性が高いと思うんですけど、常時使うわけでもないものですから、そういった感じで常時使う部屋にということで今回補助が決められたんじゃないかなと考えております。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 常時使う以外ということで、先ほどの説明では、設置する特別教室はALT、そういうところとか、少人数学級、通級指導室も対象になるんですかね。どういうところが対象になっておるんですか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今、宮本委員が言われたそのものでございまして、少人数教室、ALT教室、通級指導教室が今回対象になっております。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 校舎の改修工事費なんですけれども、こちらは3,267万円、これ、全額駐車場を拡張するために係る費用という認識でよろしいでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 駐車場拡張に伴う工事ですので、ごみ置き場ですとか自転車置き場、一輪車の練習用の棒というのも新しくつくりますので、通用門も当然新しくさせていただきますので、そういったものの費用も含まれております。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうなると、先ほどのお話で、車の駐車台数、40台から55台ということですが、15台設置をふやすためにこの工事管理費も含めて約3,300万円がかかってくるということでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） そのとおりでございます。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

（進行の声あり）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第47号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第47号は全会一致により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（清水義昭議員） ありがとうございます。

委員会報告書については例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査、御苦労さまでした。これにて建設文教委員会を閉会いたします。

午後 1 時 1 7 分閉会